

第2回世田谷陸上競技会

【出場結果】

実施日 : 5月25日(土) 1500m

会場 : 世田谷区立総合運動場陸上競技場

出場者 : 小林 航央

出場種目・出場者・リザルト

氏名	小林
種目	1500m
組	4組目
タイム	3'43"23 日本選手権標準切 シーズンベスト
順位	2/27位

【レポート】

先週行われた東日本実業団陸上競技選手権大会の1500mで8位入賞した小林ですが、日本選手権出場の標準記録(3分45秒00)には僅かに届かず、悔しさが残るレースとなりました。

日本選手権のエントリー期限が6月5日に迫る中、出場資格獲得を目指して世田谷陸上競技会の1500mに出場しました。



日本選手権の標準切りを目指してスタートを待つ小林

レースは、外国人選手2名のほか強化実業団チームの選手が序盤から積極的にレースを引っ張り、400mのラップを58秒台で通過、記録を狙う上では絶好のペースでレースは進みました。

中盤以降もペースは落ちず、1000mの通過も2分28秒台で通過、この時点でも小林の表情には少し余裕が見え記録への期待が高まりました。

その後、外国人選手がスパートすると、若干距離は空いたものの、小林も食らいつき、ラスト150mから渾身のスパートを見せると、ゴール直前で外国人選手1人を抜き去り、3分43秒台でゴールし、念願だった日本選手権出場のキップを手に入れました。



序盤から記録を狙って勢いのある走りを見せた小林



ラスト300mでも外国人選手に食らいつく小林



ラスト 150m ! 渾身のスパートを見せる小林

【総 評】

今年に入り日本選手権出場をかけて、実に7回目の1500mのレースとなりましたが、見事に目標を達成する素晴らしい走りを見せてくれました。

今回、小林から目標達成に向けての凄まじい集中力を感じましたが、2月に初戦のレースを走ってから、全てのレースで前走の記録を上回る走りが出ており、レースで得られた課題をトレーニングに落とし込んで次のレースに向かう姿勢はアスリートの姿そのものであり、結果以上に1人のアスリートとして賞賛に値する取組みだったと感じます。

6月27日から新潟で行われる日本選手権ですが、残り1ヶ月の調整期間がありますので、昨年に続く2年連続での決勝進出だけでなく、その先にある入賞を目指して、日々のトレーニングに励んでもらいたいと思います。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上